

ふくしものがたり

FUKUSHIMONOGATARI



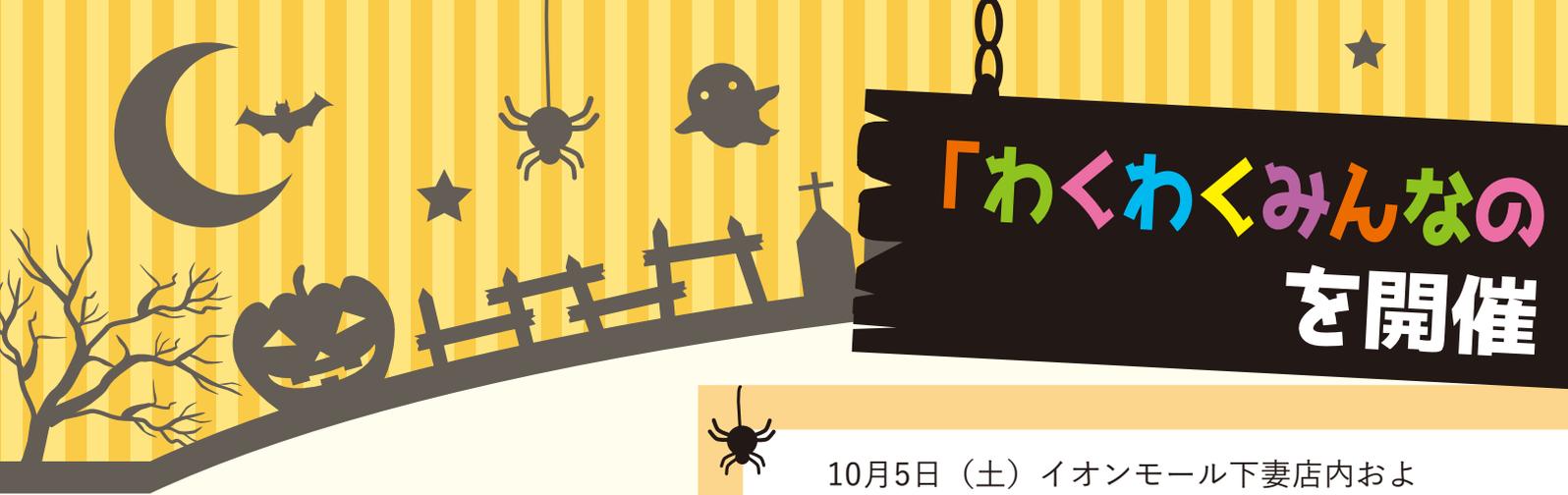
わくわくみんなの防災ハロウィン2024

イオンモール下妻での様子

防災ハロウィン2024 しました

蝶野正洋氏によるトークショーが行われ、また会場内の各ブースでは市内子育て団体やボランティア団体、企業等による体験・見学型のイベントとして備蓄品の展示や試食、段ボールベッド体験やはしご車搭乗体験が行われました。この他クイズなどを通じて防災に対する知識を楽しみながら学ぶことができ、笑顔と活気にあふれた一日となりました。





「わくわくみんなの を開催



10月5日（土）イオンモール下妻店内および駐車場Dにおいて、防災イベント「わくわくみんなの防災ハロウィン2024」を茨城西南消防フェアと連携し同時開催しました。

当日は断続的な雨にもかかわらず、子どもから大人まで幅広い世代の参加があり、1000人を超える来場者数となりました。

メインステージでは、千代川中学校・下妻二高の吹奏楽部による演奏やプロレスラー



しもつまコミュニティ



下妻・東部・
千代川地区

「下妻スクエアステップ交流会」

9月12日（木）に千代川公民館にて、下妻スクエアステップの会主催による交流会が開催されました。コロナ禍により、令和元年の実施以来5年ぶり2回目の交流会となり市内6か所の教室から集まりました。

基本ステップから始まり、休憩をはさみながら1時間程度スクエアステップを実践した後マツス（専用のボールをマットに投げて、落ちた場所に依じて得点を競う）では、皆さん狙いを定めて慎重に投げていました。終始和やかな雰囲気の中で、参加者の皆さん同士の交流を楽しんでいました。



東部地区

『おせっ会』

電球が切れてしまった…。けれど高くて手が届かない！灯油を買いに行きたい…。けれど車がない！

そんな生活の中のちょっとした困りごとをサポートする住民同士のささえあい活動『おせっ会』が発足しました。

おせっ会は、日常生活でのちょっとした困りごとをサポートするグループで、“できる時にできる人ができることを！”をコンセプトに、お互い様の気持ちで楽しみながら活動を行っています。

当面の間は東部中学校区をメインに活動を行う予定。

一緒に活動してくれる仲間も募集中。興味のある方は是非社協までご相談ください。



「この地域でもみんなで集まれる場を作りたい！」そんな5人の気持ちから始まった、まだ名前がつかない皆葉にあるサロンは、10月で1周年を迎えます。毎月第1・第3月曜日に行われるシルバーリハビリ体操の後を利用して開催し、会場はカスミの移動スーパーの停留場所でもあるため、体操、買い物、サロンと毎回充実した活動をしています。

今回お伺いしたサロンの内容は“しろかね骨太サロン”。市内の介護施設の方をお招きして骨密度測定を行い、自分の骨密度の数字をお互いに見せ合いながら大盛り上がりした後理学療法士の方に骨粗鬆症のお話を聞き、骨太体操を行いました。「今日も楽しかったー」とみんなが笑顔になれる素敵な集いの場でした。



高齢者になっても住み慣れた地域で元気に安心して暮らすコツ、それは日常の交流やつながりを大切にする事。何気ないご近所にある自然なつながりは『お宝』となり、その一つひとつが安心して暮らせる地域づくりを作り上げています。

下妻市社協では、市内にある人と人のつながりやささえあいを地域の『お宝』と称し、市内の集いの場に生活支援コーディネーター（SC）がお邪魔して社協広報誌やホームページ等にてご紹介をさせていただきます。

皆さんの近くにある“地域のお宝”教えてください

私たちが
お伺いします



下妻市全地区担当
SC 近藤



下妻地区担当
SC 戸ノ岡



下妻地区担当
SC 佐藤



千代川地区担当
SC 松澤



東部地区担当
SC 海老原

生活支援体制整備事業 地域づくり講演会 のお知らせ

※お問合せは地域福祉係まで
☎44-0142

地域づくりって何？ 地域のつながりってなぜ必要なの？
いつか自分も支えられる側になる…どうしたら？
今、必要な身近なささえあい・互いに気にかけてあえる地域づくりについて
考えてみませんか？

日 時：令和7年2月1日（土） 9時30分～正午（受付9時）
場 所：下妻市立図書館 2階映像ホール 入場料：無料
講 師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏



「地域ささえあい活動」とは、だれもが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らすために、助けが必要な方の生活を地域社全体で支え合っていく活動です。皆さんの地区のささえあい活動も是非教えてください。どんどん広がれ！地域の輪！

生活応援セット配布事業を実施しました

社会福祉協議会では、『生活応援セット（食糧品等の詰め合わせ）』配布を実施しました。市内在住の就学援助費・生活保護費・児童扶養手当を受給している子育て世帯を応援するため、ボランティアさんの協力のもと令和6年8月2日（金）3日（土）に福祉センター「砂沼荘」で申込みのあった135世帯に配布しました。

前回に引き続き、多くの企業や団体・市民の方々からご協力を賜り、事業を実施することができました。心より感謝申し上げます。

今後も経済的にお困りの方への支援を継続的に行ってまいります。



生活応援セットを受け取られた方から



いつも温かいご支援ありがとうございます。とても励みになります。

物価高騰での食品配布とてもありがたいです！！
またお願いします。

子供が多い家なのでとても助かりました。ありがとうございます。

いつもありがとうございます。お菓子がたくさんで子供たちも喜びます。物価高騰等企業様も大変な時期なのに援助頂き感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

協賛企業等一覧（順不同・敬称略）



JA 常総ひかり農業協同組合

お米



下妻市更生保護女性会

生活用品・食糧品



下妻市商工会女性部

生活用品・食糧品



下妻ロータリークラブ

お菓子



NPO 法人フードバンク茨城

お菓子・乾麺



イオン株式会社

ふりかけ



株式会社カスミフードスクエア下妻ふるさわ店

お茶



フジパン株式会社下妻工場

パン

その他、善意銀行やきずなBOXとして、多くの皆さまからお米やインスタント食品をご提供いただきました。

協賛企業・団体を募集しています

物価高騰やガソリン価格高騰など様々な形で影響を受けている方も多くいらっしゃると思います。社会福祉協議会では今後も継続的な支援を行っていきたくており、引き続き皆さまのご支援ご協力をお待ちしていますので、ご協力いただける企業・団体の方は、社協までご連絡ください。



ご協力ありがとうございます

2024年 赤い羽根共同募金運動中間報告

「じぶんの町をよくするしくみ」をスローガンに10月1日から展開しています赤い羽根共同募金運動は、自治会や住民の皆さま、学校や企業など多くの方々の思いやりに支えられ、11月11日現在、下記の金額が寄せられています。

皆さまから寄せられた募金のうち、約90%が子育て中の方や高齢者の方、障がい者の方への支援など、私たちの住む下妻市の様々な福祉課題を解決するための活動に使用され、残りの10%が広域的な社会課題や地域課題の解決のために茨城県内で役立てられます。

募金をいただいた皆さまのあたたかいご理解ご協力を厚くお礼申し上げます。

今後とも赤い羽根共同募金運動へのご支援ご協力を、どうぞよろしくお願い致します。



「赤い羽根データベースはねっと」

目標額

11,928,000円

実績額

9,255,797円

達成率

77.5%

※11月11日現在の金額です。

下妻市の赤い羽根共同募金の使い道については、「赤い羽根データベースはねっと」のホームページをご覧ください。

街頭募金・イベント募金 下妻



令和6年度能登半島地震被災地派遣

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地に、茨城県社協の要請のもと「輪島市」へ、7月5日～11日の期間に職員1名を派遣しました。

現地では、主に災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。

相談支援係 係長 塙 二郎

派遣先：輪島市災害ボランティアセンター

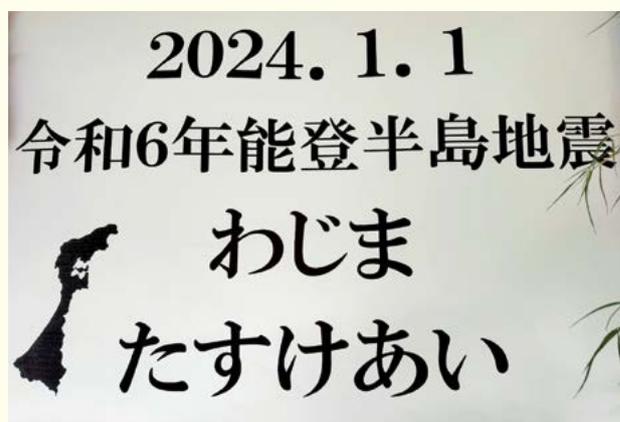
7月5日から11日の1週間、私は能登半島地震応援派遣メンバーとして被災地を訪れました。

七尾市の宿につくと、私はすぐに町の様子を見に出かけました。港は液状化で至る所にひび割れや段差が発生し、住宅地に入ると多くの建物が被害を受けていました。「半年たっても復旧は進んでいないんだな」そんな事を思いながら歩いていると、夏祭りの練習でしょうか、大人と子供が集まってお囃子の練習をしていました。その心地よくも力強い音色に地元の人々の前を向く強さを感じました。

今回派遣された輪島市では、主に災害ボランティアセンターの運営支援として被災された方とボランティアとのマッチングや活動場所への送迎等を行いました。天候不良によるボランティアの受け入れ中止の際には、崩れた土壁、瓦の運び出し、家屋内で倒れた家具や散乱したガラスの清掃、仮設住宅への引っ越し支援等のニーズ対応も行いました。

輪島市では災害ボランティアセンターを「災害たすけあいセンター」と呼び、そこには市民、行政、社協だけでなく、企業や技術系ボランティア、NPO法人等、多くの「たすけあい」の輪で、今を乗り越えていきたいという思いが込められていると聞き、現状と向き合い市民に寄り添った「たすけあい支援」を続ける輪島市社協の姿勢に感銘を受けました。

今も被災地で頑張っている人たちがいます。私たち一人一人ができる支援を続けていくことが、被災地の一日も早い復興につながるのではないのでしょうか。



東京消防庁本所防災館 防災体験ツアーを開催しました

令和6年8月10日（土）に東京消防庁本所防災館 防災体験ツアーを開催し、親子36名にご参加をいただきました。本所防災館では、職員による講話の他、暴風雨・浸水・煙・大地震の実際に起こりうる自然災害の疑似体験を通して、防災について考えるきっかけになりました。

参加者からの感想

「ぼうさいたいけんでわかったこと」

そら K さん（小学1年生）

ぼくは、ぼうさいたいけんツアーへいくまえは、さいがいはテレビのニュースしか知りませんでした。おおあめやかぜのつよいひにそとへでたことがなかったし、みずがどうろやいえのなかにくるとおもったことがなかったです。ドアのそとにみずがきたら、ぼくは10cmしかあけられなかったからはやくひなんしないといけないし、かじでにげるときはひなんくんれんとちがって、まえのひとがいないとどっちへいけばいいかわからないからこわかったです。じしんのときのダンゴムシのポーズは、たくさんゆれてころがりそうになりました。さいがいはいつくるかわからないからこわいとおもいました。

「体験を災害に活かせるように」

杉山 清 さん（保護者）

災害のニュースを見る度に防災に備えなくてはと思っていましたが、なんとなく毎日が過ぎていました。そんな時、この防災体験ツアーを知り息子と参加しました。ツアーでの防災体験は、災害が起きた時に行動出来るよう考えさせられる事ばかりでした。様々な災害を体験して、親子でどう行動するか考え話し合えた事は大きな備えになったと思います。今後もこのような機会があれば、家族で積極的に参加したいと思います。



関係者向けに成年後見制度研修会が行われました

10月28日（月）に医療職・介護職・福祉職のための成年後見制度研修会が開催されました。水戸市社会福祉協議会の方を講師に迎え、制度のメリット・デメリットや課題の解決に繋がった事例などを丁寧に説明していただきました。参加者からは、「とても分かりやすくして事業所の人に説明したいと思った。」という感想をいただきました。



▲関係者向け研修会の様子

市民向け
講演会

落語で楽しく学ぼう！成年後見制度

日時：令和6年12月22日（日）
13:30～15:30（受付13:00～）

場所：千代川公民館 ホール（下妻市鬼怒230番地）

定員：100名

参加費：無料

落語家：桂ひな太郎 師匠

解説：栗山 学 弁護士（栗山法律事務所）



申し込み：市役所長寿支援課 ☎0296-43-8264

株式会社ダイナム様より寄贈いただきました

9月24日（火）に株式会社ダイナム様よりBOXティッシュやマスクなど多くの日用品の寄贈がありました。寄贈された物品は、必要とされている方や市内の福祉施設で活用いたします。前回に引き続き、この度もたくさんのご協力をありがとうございました。



第50回下妻市敬老福祉大会

敬老の日にちなみ、長寿を祝う「第50回下妻市敬老福祉大会」が9月14日、千代川公民館で開催されました。

芸能発表では市内の老人クラブや同好会、個人の方々の参加があり、日頃親しんでいる歌や踊りなどを披露いただき、楽しいひとときを過ごしました。

踊りを披露する 葵会 栗野 昭三さん(参加者最高齢)▶



在宅福祉サービスセンター「あおぞら」・子育て支援「ファミリーサポートセンター」協力会員研修会

9月17日(火)に協力会員と一般の方を対象に「救命救急講習」を実施しました。

下妻消防署の職員を講師としてお招きし、AEDの使い方や設置場所などについて講話をいただきました。参加者からは「実際にやってみるとかなり力があることが分かった」「いざという時に焦ってパニックにならない為にも、定期的に講習は必要だと思った」との感想をいただきました。

協力会員研修会は来年度も行いますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。



「砂沼を歩こう会」

10月12日(土)に、下妻ボランティア連絡協議会による「砂沼を歩こう会」を開催しました。各団体や個人で活動をしている93名のボランティアさんが参加し、砂沼を北周りとなりに分かれ、歩きながら遊歩道のゴミ拾いのボランティア活動を行いました。

さらに、JA常総ひかり下妻支店様のご協力のもと、お楽しみ会として抽選会も実施しました。これからも楽しい交流会を開催し、コミュニティの絆を深めていく予定です。下妻ボランティア連絡協議会に興味のある団体・個人のボランティアの方は下妻市社協までご相談ください。



咲かせよう愛の花

善意銀行 ありがとうございました

2024. 8. 1 ~ 2024.10.31 (順不同・敬称略)

古切手

山野 静乃
初澤 悦子
道川 健
日野 ゆかり
鈴木 浪子
第一生命保険(株)下妻営業オフィス
(株)フジヤ商店
株式会社 サンキャスト
特別養護老人ホーム 加養の里
愛宕園
認定こども園 ふたば文化
子育て支援課
福祉センター 砂沼荘
福祉センターひばりの
匿名 7名
預託金
カラオケみのり会 16,578円
NPO法人日本入れ歯リサイクル協会 11,625円
すみれ会 3,431円
クリーンポート・きぬ 1,384円
匿名 3名 計3,744円

匿名 未使用切手 2,569円分
書き損じハガキ
山野 静乃
匿名 2名
生活用品(マスク・紙オムツ・おしりふき・タオル・衣類など)
酒寄 まり子
浅野 祐美
GIFTSHOP silver spoon
認定こども園 ふたば文化
匿名 8名
フードバンク(お米・レトルト食品・保存食など)
㈱カスミ
フードスクエア下妻ふるさわ店
フードスクエア下妻店
フードオフストッカー千代川店
㈱TAIYO
フードバンク回収BOX(きずなBOX)
下妻公民館・砂沼荘・千代川公民館・
大宝公民館・図書館・下妻市役所
JA常総ひかり下妻支店
JA常総ひかり下妻千代川支店

ファミマフードドライブ
ファミリーマート市内全店舗
近藤 反行
端 敦宣
酒寄 まり子
初澤 敬子
黒川
匿名 13名
お届け先
※食糧品➡お菓子・調味料・お米・ペットボトルお茶など お茶NOMA
やはた学童クラブ
個人延べ 65名
※介護用品➡紙オムツ 市内介護施設



ボランティアサークル紹介 vol.3

図書館ボランティアしもつま

図書館ボランティアしもつまは、下妻市立図書館の創立と同年に発足し、今年で23年目を迎えます。現在、約30名の会員が、4つのグループ(読み聞かせ・対面朗読・本の修整・美化)に分かれ、それぞれが図書館をサポートし、人と人の触れ合いの中で図書館発展のためのよりよい環境づくりを目的に活躍しています。



年間1500冊以上の本の修理をしたり、視覚障がい者に声の便りのCDを届けたり、コロナ禍が収まりつつある今年からは、毎週土曜日のおはなし会や小学校や学童での読み聞かせも復活し、それぞれのグループが楽しく活動しています。

みんなの研ぎやさん

市民の皆様。毎日お使いの包丁は切れますか？

私たちは“包丁を研ぐことができない”“砥石がない”“何年も研がずに包丁を使っている”そんな方々の包丁を研ぐために集まった刃物研ぎのボランティア団体です。平成22年に活動を開始し、現在は会員15名で市内公共施設など10か所にて年間18回研ぎ活動を行っております。



食欲の秋。包丁の切れ味が良ければ食材調理がしやすく、旬の味をおいしく食べることができますよ。どんな包丁でも月に1~2回研ぐ事をお勧めします。

下妻市お知らせ版に活動日を掲載しておりますので、是非ご利用ください。

